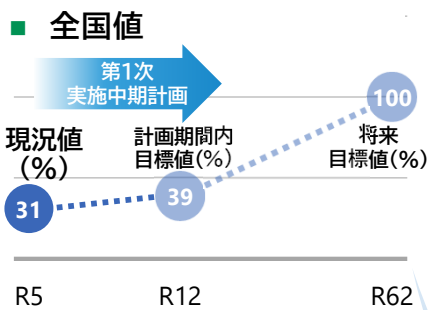


【10】流域治水対策(河川、砂防、下水道、海岸)【国土交通省・農林水産省】

指標名: 気候変動を踏まえた洪水に対応(必要な流下能力を確保)した国管理河川(約1,500万m³/s・km)の整備完了率



■ 地方ブロック別

※ 地方ブロックは地方整備局等の管轄区域を示している

■ 指標の定義

洪水調節分も考慮した、各断面で目標とする流下能力の総和に対する、現況の流下能力の確保率

※河川整備の中期的な計画を定める整備計画の策定時点を進捗管理の起点とする

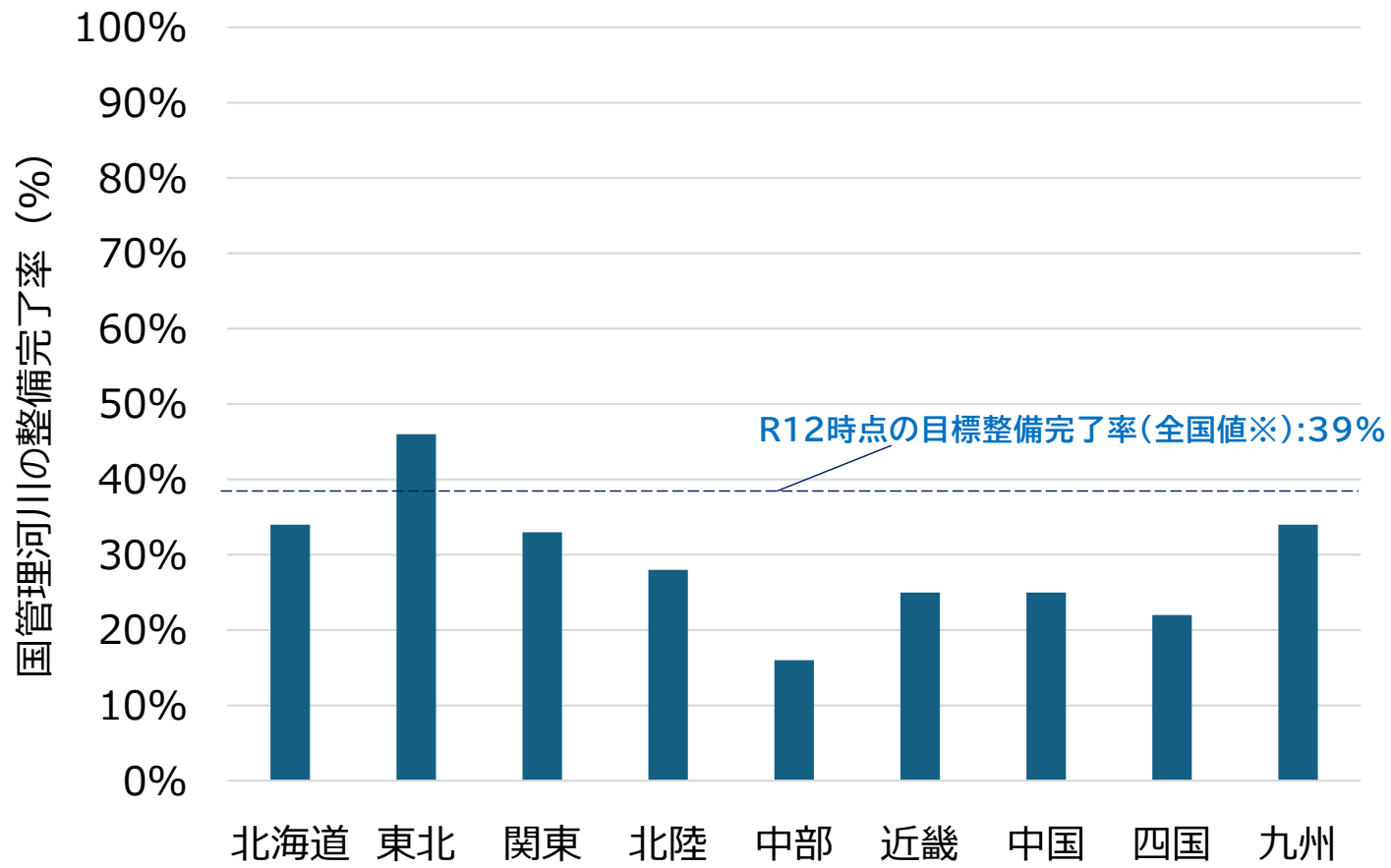
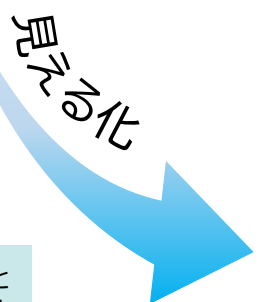
$$\frac{\text{各断面の現況流下能力} + \text{現況洪水調節施設の調節流量の総和}}{\text{各断面の流プロ2.0等における目標流量(河道+洪水調節施設)の総和}}$$

■ ポイント

河川堤防やダムの整備等の治水対策により、気候変動を踏まえた洪水に対して必要な流下能力を確保し、河川からの氾濫等による浸水被害を軽減・防止する。

■ 用語解説

●流下能力
河道計画上安全に流下できると評価される流量のこと。

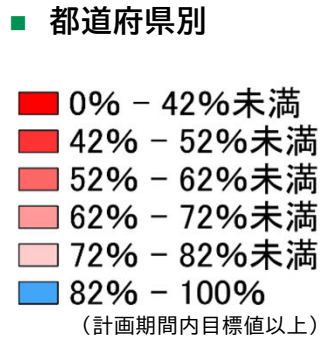
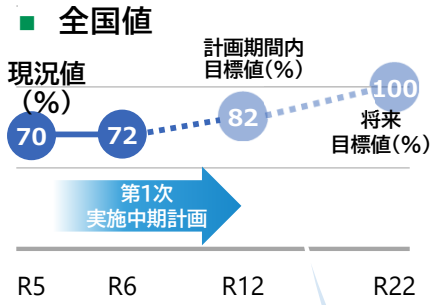


※ 各地方整備局等での目標整備率ではなく、国管理河川全体の目標整備率

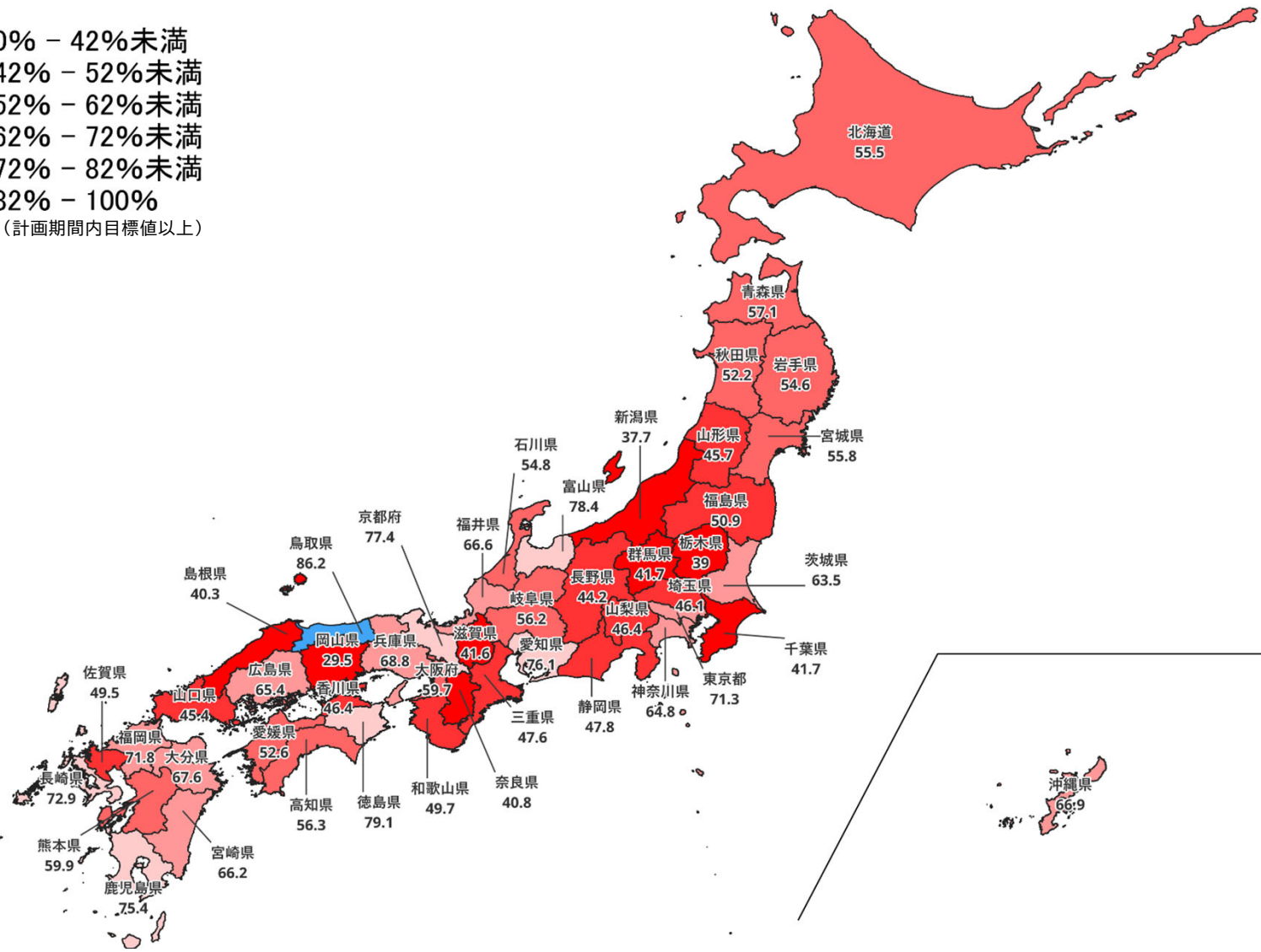
(令和5年度末時点)

【10】流域治水対策(河川、砂防、下水道、海岸)【国土交通省・農林水産省】

指標名: 浸水実績地区等(全国約37万ha(令和5年度末時点))における下水道による浸水対策完了率



見える化



■ 指標の定義

((整備が完了した面積) / (人口・資産集積地区のうち浸水リスクの高いエリアで雨水排水施設の整備が必要な面積)) × 100

■ ポイント

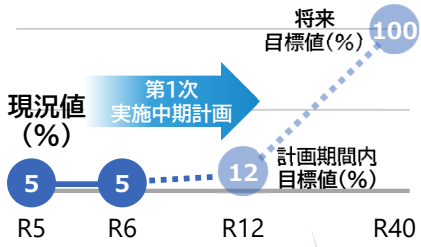
従来の計画降雨に対し、人口・資産集積地区のうち、過去に浸水被害の発生実績があるなどの浸水リスクの高いエリアがある地域にて、下水道による浸水対策を実施し、浸水被害を防止している。

(令和6年度時点)

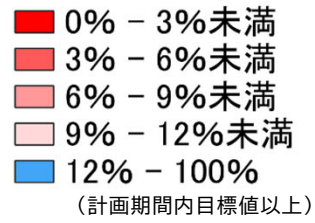
【10】流域治水対策(河川、砂防、下水道、海岸)【国土交通省・農林水産省】

指標名: 浸水実績地区等(全国約37万ha(令和5年度末時点))における下水道による気候変動の影響を踏まえた浸水対策完了率

■ 全国値



■ 都道府県別



見える化

■ 指標の定義

$((\text{対策を実施した面積}) / (\text{気候変動の影響による降雨量の増加を踏まえた降雨に対し、下水道によるハード対策に加え、多様な主体との連携等による浸水対策(*)が必要な面積})) \times 100$

■ ポイント

気候変動の影響による降雨量の増加を踏まえた降雨に対し、人口・資産集積地区のうち、過去に浸水被害の発生実績があるなどの浸水リスクの高いエリアがある地域にて、下水道による浸水対策を実施し、浸水被害を防止している。

※多様な主体との連携等による浸水対策例
 民間等による雨水貯留浸透施設の整備、地下施設における止水板設置 など

